

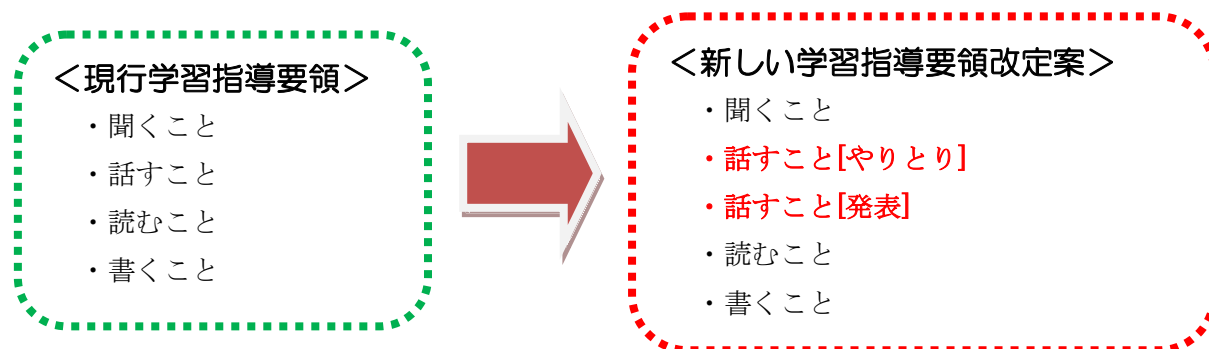
## 小学校・中学校 英語 新しい学習指導要領について考える

### ～「話すこと」にウェートが置かれる！～

～これまでよりも友達同士の英会話や一人ひとりの発表（スピーチ）が予想されます～

文部科学省が 2/14 に発表しました新しい学習指導要領改定案「英語」の中で、これまでと大きく変わったところは、英語の4技能（聞く・話す・読む・書く）のうち、「話すこと」を『やりとり』と『発表』に分け、5つの領域として位置付けたことです。

現行学習指導要領は4つの領域として英語学習の目標・内容が書かれています。



このことは「話すこと」の指導に、従来よりウェートが置かれるということを意味します。そして、授業では、友達同士や先生との「コミュニケーション活動」と一人ひとりの英語での発表（スピーチ）がこれまでよりも行われることが予想されます。

「発表」はイメージしやすいと思います。では、[やりとり]とはどのようなことなのでしょう？ あくまでも予想ですが、一例で示します。

★小学校：自分に関する簡単な質問に答えたり、相手に簡単な質問をしたりして、短い会話をする活動。

Anna: What do you want to be?

Eri: I want to be a baker. I like baking cakes and cookies.

★中学校：関心のある事柄について、相手からの質問に答えたり、関連する質問をしたりして、互いに会話を継続する活動。

Mark: What does your family do on New Year's Day?

Yusuke: Our family visits the local shrine. We also eat delicious food for the new year. And your family?

Mark: We watch a famous parade every year in the city. We usually watch American football games, too.

Yusuke: That sounds exciting!